

支部だより

支部展特集



新支部長、辺見さんを迎えて
(前列左から3人目)

三点展示された。今年はCATVの取材こそなかったが、六日間の入場者は六八一名と盛況であった。来場者の感想では、「見応えのある数少ない絵画展で、八〇号以上の作品が一〇点、ほか大作も多い。通路に展示された小品も、とても良かった」など、お褒めの言葉を頂いた。会員にとっても大きな励みになった。

支部展の初日、一〇年以上に亘って、支部長をされた北條三郎氏が辞任。新支部長に辺見昭彦氏が就任された。

東京支部展開催される 支部長 永野 信

第三八回展を六月九日(月)〜一四日(金)の六日間、恒例の文京シビックセンターで開催しました。

会員一二名、一般六名、作品数四二点に加えて張さん、石原さんのクロッキー、デッサン作品の協賛出展を頂いて、例年に増して新日美の特性を発信することができました。特に会期中、来場者に新日美展におけるワークシヨップや事業部の写生会、色彩に関する講習会、クロッキー・デッサン会への参加を呼びかけ、一般者の参加も得られたことです。

東京支部は超シニアな大石さんをはじめベテラン層と比較的若い出展者で構成されていますが、いずれの皆さんも新しい制作手法に挑戦した作品が多く、来場の皆さんからも賞賛されました。遠く、北海道江別市から出展して下さる有田さんは今年も美しい北の海の作品で、当地においてもグループで作品展をされているそうです。

今回は向かいのギャラリーで文京区民絵画展の審査関係者の大作展が開かれ、当会出展者の知人や或いは指導を受けた先生方もいて、双方交流の盛り上がりは望外のことでした。

文京シビックセンターの利用料

は大変高額ですが交通の便の良さで毎回六〇〇人〜一〇〇〇人の入場者があり、情報発信の効果の大きいことから高額使用料は耐え忍ばなければならぬところとす。

最後になりますが今回もご来場いただきました大勢の他支部の皆さんに御礼申し上げます。



芳賀文治先生の講評風景

選抜小品展を終えて

実行委員長 倉田 遼一

去る六月一日、今年の選抜小品展を無事終えましたことを報告でき、ホッとしています。

三月に小品展作品の応募を締め切った時では、申込み作品数が四五点にも及ばないものでした。二次応募としてメンバーに二点目の作品出品をお願いし、

ご協力をいただいたことで、目標としていた出品者数を達成でき、作品数五八点の作品の展示が実現できました。来場者数も前年に劣らぬ四〇〇名を超えました。

今会期で特記すべきことは価格を付けて販売可能な選抜小品展で五名の出品作者の作品が販売されたことです。これは最も販売点数の多い小品展となったことです。そして地方から出品いただき会場に來られなかった方々には、ご自分の作品の会場での展示場所をお教えし、展示されている作品の様子を写した写真のURLをお教えしました。

来年の小品展に向けての企画としてはチャリティー方式での販売を進めたいとの声も聞こえていますので、また委員会に諮りながら具体化していきたいとも考えています。

今年度の選抜小品展も展示準備、撤収日、毎日の当番など皆様の過大なご協力のもとと終えられたことに感謝いたします。

来年は二〇二〇年五月三十一日から六月六日までです。また来年も素晴らしい選抜小品展の実現にがんばりましょう。